

当院にて歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、口腔粘膜疾患の診断を

受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学臨床検査病理学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

歯原性腫瘍における病態関連因子の網羅的解析

2. 研究目的

歯科における顎口腔領域疾患で臨床上多く認められる疾患のひとつに歯原性腫瘍があります。この歯原性腫瘍において、一部の患者様には発症に関わる遺伝子の異常の存在が明らかになっています。本研究の目的は、腫瘍に関与する遺伝子を同定することや、すでに異常が報告されている遺伝子についても確認することで、今後の診断や予後の判定、新しい治療法への応用に役立てることです。

3. 研究方法

東京歯科大学水道橋病院および千葉歯科医療センターにて歯原性腫瘍と診断された患者様の手術において切除した腫瘍組織を用いて、疾患に特徴的にみられるタンパク質や遺伝子の状態を検索します。本研究では、腫瘍部のみの遺伝子の検索を行い、家族性腫瘍に関するような検討は行わないため、家族性腫瘍の発生に関わるような遺伝情報を発見することは想定されていません。

調査の対象となるのは、2000年1月から2019年12月までに東京歯科大学水道橋病院および千葉歯科医療センターにおいて歯原性腫瘍と診断された方です。また、対照群として歯原性嚢胞および口腔粘膜疾患と診断された症例においても同様の検討を行います。

4. 研究期間

本研究の研究期間は、倫理審査委員会承認(2020年4月3日)後～2023年3月31日です。

5. 個人情報等の取り扱い

本研究では、資料として年齢や性別、部位、治療方法などを用いますが、氏名、住所、生年月日は削除し、個人を特定できないよう匿名化した情報を研究に使用します。匿名化に関する情報は、情報管理責任者により厳重に管理されます。また、研究者は特定につながる情報を自由に得ることはできません。

6. 研究に関する情報公開の方法

本研究内容は Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral Radiology への投稿を予定しておりますが、個人が特定できるような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

7. 研究協力者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

新たに生じる負担、リスクはありません。

8. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

9. 研究協力への同意と撤回の自由

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

10. 費用等に関すること

新たに発生する費用負担、利益相反はありません。また謝金はございません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 臨床検査病理学講座

研究責任者（情報管理責任者） 國分克寿

連絡先 03-6380-9252